



KONICA MINOLTA

レーザーイメージャー

DRYPRO MODEL 771

DICOM 3.0 Conformance Statement

Ver. 1.04 2010.06

コニカミノルタ エムジー株式会社

目 次

0 まえがき	4
1 実装モデル	5
1.1 応用データの流れ図	5
1.2 AEの機能定義	5
1.3 実世界活動のシーケンス	5
2 AE仕様	6
2.1 DRYPRO MODEL 771 仕様	6
2.1.1 アソシエーション確立方針	6
2.1.1.1 概要	6
2.1.1.2 アソシエーションの数	6
2.1.1.3 非同期の性質	6
2.1.1.4 実装識別情報	6
2.1.2 実世界活動によるアソシエーションの開始	7
2.1.3 アソシエーション受諾方針	7
2.1.3.1 実世界活動	7
2.1.3.1.1 関連する実世界活動	7
2.1.3.1.2 プレゼンテーションコンテキスト表	7
2.1.4 SOPクラス適合性	8
2.1.4.1 確認SOPクラス	8
2.1.5 基礎グレイスケールプリント管理メタSOPクラス	8
2.1.5.1 基礎フィルムセッションSOPクラス	8
2.1.5.2 基礎フィルムボックスSOPクラス	9
2.1.5.3 基礎グレイスケール画像ボックスSOPクラス	10
2.1.5.4 プリンタSOPクラス	12
2.1.6 プレゼンテーションSOPクラス	13
3 通信プロファイル	14
3.1 サポートされる通信スタック	14
3.2 TCP/IPスタック	14
3.2.1 物理媒体のサポート	14
4 拡張／特殊化／私有化	15
5 構成	16
5.1 AE名称／プレゼンテーションアドレス対応付け	16
6 拡張文字集合のサポート	17

Appendix.A (特有状態コード)	18
A.1 基礎フィルムボックスSOPクラス	18
A.1.1 N-CREATE	18
A.1.2 N-SET	18
A.1.3 N-ACTION.....	19
A.1.4 N-DELETE	19
A.2 基礎フィルムボックスSOPクラス	20
A.2.1 N-CREATE	20
A.2.2 N-SET	20
A.2.3 N-ACTION.....	21
A.2.4 N-DELETE	21
A.3 基礎グレイスケール画像ボックスSOPクラス	22
A.3.1 N-SET	22
A.4 プリンタSOPクラス	23
A.4.1 N-GET	23
Appendix.B (イメージャフォーマット)	24
B.1 イメージャフォーマット.....	24
B.2 その他プリント制限.....	26
Appendix.C (Status Information)	27
C.1 イメージャ状態情報.....	27

0 まえがき

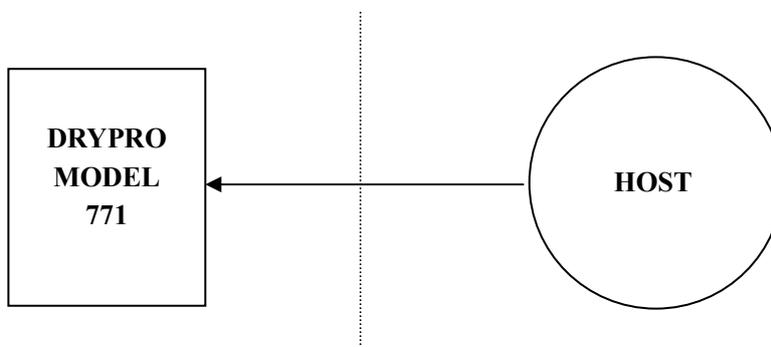
本書はレーザーイメージャー DRYPRO MODEL 771 に関する DICOM3.0(プリント管理サービスクラス)の適合性について記述するものである。

ご注意 本書に記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。

1 実装モデル

DRYPRO MODEL 771(SCP)は、HOST(SCU)からのプリント要求に従い、画像をハードコピーするためのレーザーイメージャーである。

1.1 応用データの流れ図



1.2 A Eの機能定義

Host(SCU)が DRYPRO MODEL 771(SCP)に画像のプリントを要求する場合には、プリント管理サービスクラスにて定義される SOP クラスを操作する。

SOP クラスの操作方法は、個々の SOP クラスで定義される DIMSE サービスを使用する。

DRYPRO MODEL 771(SCP)は HOST(SCU)により指定された個々の属性値に従い、画像データを処理し画像のハードコピーを行う。

1.3 実世界活動のシーケンス

実世界活動のシーケンスには適応していない。

2 A E仕様

2.1 DRYPRO MODEL 771 仕様

DRYPRO MODEL 771 は、プリント要求アソシエーションを受け、応用エンティティとして動作する。

DRYPRO MODEL 771 は、以下の SOP クラスに SCP として適合する。

表 1 プリント管理メタ SOP クラス

メタ SOP クラス, SOP クラス名	メタ SOP クラス, SOP クラス ID
確認 SOP クラス	1.2.840.10008.1.1
基礎グレイスケールプリント管理メタ SOP クラス	1.2.840.10008.5.1.1.9
プレゼンテーション LUT SOP クラス	1.2.840.10008.5.1.1.23

2.1.1 アソシエーション確立方針

アソシエーションを確立するための条件を下記に記述する。

2.1.1.1 概要

プリント管理 SCU と SCP は DICOM 上部層を使用することによりアソシエーションを確立する。この際、Host(SCU)はアソシエーションを起動し、DRYPRO MODEL 771(SCP)はそれを受諾する。

2.1.1.2 アソシエーションの数

DRYPRO MODEL 771 が同時にサポートできるアソシエーション数は 32 である。

2.1.1.3 非同期の性質

DRYPRO MODEL 771 は、非同期の N-EVENT メッセージを扱う。但し、これは必要に応じて転送される。

2.1.1.4 実装識別情報

DRYPRO MODEL 771 の実装クラス UID は“1.2.392.200036.9107.403”である。

DRYPRO MODEL 771 の実装バージョン名は“KC_DPRO2_X.XXXXX”。

※ X.XXXXX はソフトウェアのバージョン名を表す。

例) KC_DPRO2_1.00R00

2.1.2 実世界活動によるアソシエーションの開始

DRYPRO MODEL 771(SCP)は非同期の N-EVENT メッセージを発行する場合に、アソシエーションを起動する。

2.1.3 アソシエーション受諾方針

DRYPRO MODEL 771(SCP)は HOST(SCU)のアソシエーションの確立要求により、アソシエーションを確立する。

2.1.3.1 実世界活動

2.1.3.1.1 関連する実世界活動

HOST(SCU)からの指示により、画像データをフィルム上にプリントするために、イメージャーに画像データおよび各種パラメータを送信する。

HOST(SCU)からの指示により C-ECHO、Film Session、Film Box、Image BOX 要求をすることができます。

2.1.3.1.2 プレゼンテーションコンテキスト表

DRYPRO MODEL 771(SCP)は以下の表に示すプレゼンテーションコンテキストを受け付けることが可能である。

表2 プレゼンテーションコンテキスト表

抽象構文		役割
名前	UID	
確認 SOP クラス	1.2.840.10008.1.1	SCP
基礎グレイスケールプリント管理メタ SOP クラス	1.2.840.10008.5.1.1.9	SCP
プリンタ管理クラス	1.2.840.10008.5.1.1.16	SCP
プレゼンテーション LUT SOP クラス	1.2.840.10008.5.1.1.23	SCP

拡張折衝は必要に応じて対応する。

上記の個々の SOP クラスに対して、以下の転送構文が有効である。

名前	UID
Implicit VR Little Endian	1.2.840.10008.1.2

2.1.4 SOP クラス適合性

2.1.4.1 確認 SOP クラス

確認 SOP クラスへの適合性を提供する。

C-ECHO Request を受け取ると、C-ECHO Response を返信します。

2.1.5 基礎グレイスケールプリント管理メタ SOP クラス

基礎グレイスケールプリント管理メタ SOP クラスの適合性を提供する。

以下の SOP クラスをサポートしています。

表3 サポートする SOP Class と UID Value

SOP Class	UID Value
基礎フィルムセッション SOP クラス	1.2.840.10008.5.1.1.1
基礎フィルムボックス SOP クラス	1.2.840.10008.5.1.1.2
基礎グレイスケール画像ボックス SOP クラス	1.2.840.10008.5.1.1.4
プリンタ SOP クラス	1.2.840.10008.5.1.1.16

2.1.5.1 基礎フィルムセッション SOP クラス

表4 フィルムセッション

Tag	Name	VR	VM	Permitted Value
(2000, 0010)	Number of Copies	IS	1	印刷枚数 1~99
(2000, 0020)	Print Priority	CS	1	プリントの優先度 LOW = 低 HIGH = 高 MED = 中
(2000, 0030)	Medium Type	CS	1	媒体の種類 CLEAR FILM = クリアベース BLUE FILM = ブルーベース DR CLEAR FILM = DR クリアベース DR BLUE FILM = DR ブルーベース
(2000, 0040)	Film Destination	CS	1	フィルムの排出場所 PROCESSOR = 自動現像機
(2000, 0060)	Memory Allocation	LO	1	メモリー割り当て 必要なメモリー内容を設定。 値はKB で表す。
(2010,015E)	Illumination	US	1	照明
(2010,0160)	Reflected Ambient Light	US	1	反射周囲光

これら以外のタグについてはチェックを行わない。

また必要に応じて未対応のヘッダ情報にも適合してゆく。

2.1.5.2 基礎フィルムボックス SOP クラス

表5 フィルムボックス

Tag	Name	VR	VM	Permitted Value
(2010, 0010)	Image Display Format	ST	1	画像表示フォーマット STANDARD¥C,R = CxR フォーマット ROW¥R1,R2 = Row フォーマット
(2010, 0030)	Annotation Display Format ID	CS	1	注釈表示フォーマット I D P1 = PORTRAIT L1 = LANDSCAPE TM = TIME CC = Copy Count ID = Modality ID MS = Message
(2010, 0040)	Film Orientation	CS	1	フィルムの向き PORTRAIT = ポートレイト LANDSCAPE = ランドスケープ
(2010, 0050)	Film Size ID	CS	1	フィルムサイズ 11INX14IN 14INX14IN 14INX17IN
(2010, 0060)	Magnification Type	CS	1	拡大方法 NONE = 補間なし(2倍拡大) BILINEAR = バイリニア補間 REPLICATE = 0次補間 CUBIC = 3次 B-Spline による補間
(2010, 0080)	Smoothing Type	CS	1	補間機能タイプ 1~7 拡大方法(2010, 0060) = CUBIC に対してのみ有効。
(2010, 0100)	Border Density	CS	1	画隔濃度 BLACK = 黒ボーダー WHITE = クリアボーダー
(2010, 0120)	Min Density	US	1	最小濃度 (0~100)
(2010, 0130)	Max Density	US	1	最大濃度 (100~350)
(2010, 0140)	Trim	US	1	トリム枠 YES = あり NO = なし
(2010, 0150)	Configuration Information	ST	1	イメージャーLUT 記述は下記の通り。 KC_LUT=1~7

これら以外のタグについてはチェックを行わない。
また必要に応じて未対応のヘッダ情報にも適合してゆく。

2.1.5.3 基礎グレイスケール画像ボックス SOP クラス

表 6 画像ボックス

Tag	Name	VR	VM	Permitted Value
(0028, 0002)	Samples per Pixel	US	1	画素あたりサンプル
(0028, 0004)	Photometric Interpretation	CS	1	光度測定解釈。 MONOCHROME1:最小 VOI 画素値 = 白 MONOCHROME2:最小 VOI 画素値 = 黒
(0028, 0010)	Rows	US	1	イメージの Y 方向のピクセル数。
(0028, 0011)	Columns	US	1	イメージの X 方向のピクセル数。
(0028, 0034)	Pixel Aspect Ratio	IS	2	画素アスペクト比
(0028, 0100)	Bits Allocated	US	1	ピクセルに割り当てられたビット数。 未使用ビット数を含む。 0008: 8 (8 ビット) 0010: 16 (12 ビット) 上記以外はエラーとする。
(0028, 0101)	Bits Stored	US	1	1 ピクセルのビット数 0008: 8 ビット 000C: 12 ビット
(0028, 0102)	High Bit	US	1	高位ビット ピクセルデータの MSB (Most significant bit)。 0007 = 7 (Bits Stored = 8) 000B = 11 (Bits Stored = 12)
(0028, 0103)	Pixel Representation	US	1	ピクセルデータ表現 0x0000 = 符号なし整数
(2020, 0010)	Image Position	US	1	画像位置 (1~64) ページを構成する画像の位置。
(2020, 0020)	Polarity	CS	1	極性 NORMAL REVERSE
(2020, 0030)	Requested Image Size	CS	1	依頼画像寸法
(2040, 0040)	Requested Decimate/Crop Behavior	CS	1	依頼縮小/刈り込み挙動 DECIMATE CROP FAIL
(7fe0, 0010)	Pixel Data	OW OB	1	ピクセルデータ

これら以外のタグについてはチェックを行わない。
また必要に応じて未対応のヘッダ情報にも適合してゆく。

依頼画像寸法に関しては1コマフォーマットにのみ対応します。
 各フィルムで有効な最大設定可能寸法を表7に示します。
 但し、画像アスペクトによってはプリントできない場合があります。

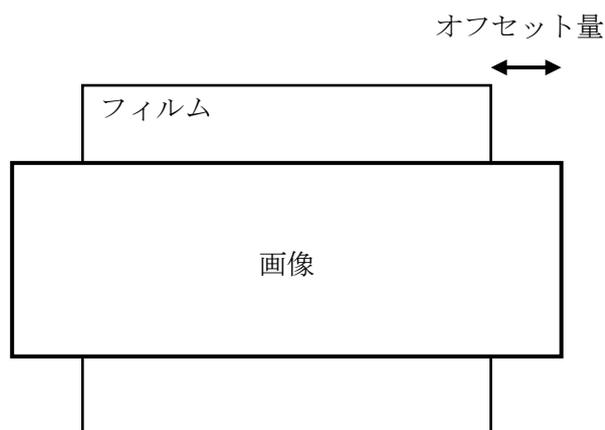
表7 依頼画像寸法

フィルムサイズ	フィルム方向	依頼画像寸法(mm)
14 X 17	Portrait	342 (354)
	Landscape	418 (426)
14 X 14	Portrait	342 (354)
	Landscape	
11 X 14	Portrait	267 (275)
	Landscape	342 (354)

()内はCRモードの場合です。

依頼画像寸法が上記表を超えた場合の扱いは以下ようになります。

- DRYPRO MODEL 771 設定がCROPの場合



フィルム中心を基準に画像記録するため、画像の一部が印刷されません。
 この場合、フィルムにオフセット量を印字します。

- DRYPRO MODEL 771 設定がCROP以外の場合



イメージャー内部の拡大率を使用してフィルムに画像記録します。
 この場合、フィルムに依頼画像寸法との比率を印字します。

2.1.5.4 プリンタ SOP クラス

表 8 プリンタ

Tag	Name	VR	VM	Permitted Value
(0008, 0070)	Manufacture	LO	1	製造業社名 KONICA MINOLTA
(0008, 1090)	Manufacture's Model Name	LO	1	モデル名 DRYPRO771
(0018, 1000)	Device Serial Number	LO	1	シリアル番号
(0018, 1020)	Software Version	LO	1	ソフトウェア版
(2110, 0010)	Printer Status	CS	1	プリンタ状態 NORMAL : 正常 WARNING : 警告 FAILURE : 失敗
(2110, 0020)	Printer Status Information	CS	1	プリンタ状態追加情報 Appendix C 参照
(2110, 0030)	Printer Name	LO	1	プリンタ名 DRYPRO771

2.1.6 プレゼンテーション LUT SOP クラス

表 9 提示 LUT

Tag	Name	VR	VM	Permitted Value
(2050, 0010)	Presentation LUT Sequence	SQ	1	プレゼンテーション LUT シーケンス
(0028, 3002)	LUT Descriptor	US ¥ US	1	LUT 記述子
(0028, 3003)	LUT Explanation	LO	1	LUT 説明
(0028, 3006)	LUT Data	US or SS	1-n	LUT データ
(2050, 0020)	Presentation LUT Shape	CS	1	プレゼンテーション LUT 形状 IDENTITY LIN OD

3 通信プロファイル

3.1 サポートされる通信スタック

DICOM 規格 Part8(PS3.8-1992). で既定されている DICOM3.0 TCP/IP Network Communication Support を提供する。

3.2 TCP/IP スタック

Linux システムからの TCP/IP Stack を受け継ぐ。

3.2.1 物理媒体のサポート

次の物理媒体を標準でサポートする。

- ・ 10 BaseT、100baseTX

4 拡張／特殊化／私有化

基礎フィルムボックス SOP クラスで以下の属性を予約する。

- ・ (2011,0010) Konica Private Data Element
- ・ (2011,1011) Patient Name Position
- ・ (2011,1021) Patient ID Position
- ・ (2011,1030) Density
- ・ (2011,1031) Contrast
- ・ (2011,1040) ID Image Position
- ・ (2011,1050) Other Information
- ・ (2011,1060) Modality ID
- ・ (2011,1070) Target Printer Name
- ・ (2011,1080) Glossy
- ・ (2011,1090) Calibration LUT

プリンタ SOP クラスで以下の属性を予約する。

- ・ (2011,0010) Konica Private Data Element
- ・ (2011,10A0) Error Reset
- ・ (2011,10A1) Copy Stop
- ・ (2011,10B0) Supply Magazine Counter 1
- ・ (2011,10B1) Supply Magazine Counter 2
- ・ (2011,10B2) Receive Magazine Counter
- ・ (2011,10C0) Imager Film Size ID 1
- ・ (2011,10C1) Imager Film Size ID 2
- ・ (2011,10D0) Imager Medium Type 1
- ・ (2011,10D1) Imager Medium Type 2
- ・ (2011,10E0) Film Queue Count
- ・ (2011,10F0) Copy Queue Count

5 構成

基礎フィルムボックス SOP クラスで以下の属性をサポートする。

5.1 AE 名称／プレゼンテーションアドレス対応付け

環境情報ファイルに以下を設定する。

- ・ DRYPRO MODEL 771 AE 名称（デフォルト：KC_DPRO2_P001）
- ・ DRYPRO MODEL 771 TCP ポート番号 100～65535（受信用）
- ・ ホスト AE 名称
- ・ ホスト IP アドレス
- ・ ホスト TCP ポート番号 100～65535（N-EVENT-REPORT 用）

6 拡張文字集合のサポート

VR が SH（短列）、LO（長列）、ST（短テキスト）、LT（長テキスト）、PN（人名）である要素について SC 画像 IOD の属性特定文字集合(0008,0005)に拡張文字レパトリを指定して拡張文字を使用することがある。

拡張文字レパトリは以下のものを使用する。

- ISO 2022 IR87
- ISO 2022 IR13≠ISO 2022 IR87

DRYPRO MODEL 771

Appendix.A (特有状態コード)

A.1 基礎フィルムセッション SOP クラス

A.1.1 N-CREATE

SCUは、SCPに基本フィルムセッション SOP インスタンスの生成を要求するために、N-CREATE を使用することができる。

《基礎フィルムセッション SOP クラス》

N-CREATE 成功	DRYPRO MODEL 771(SCP)は基本フィルムボックス SOP インスタンスを生成し、その属性を初期化する。
N-CREATE 失敗	DRYPRO MODEL 771(SCP)がまだ基本フィルムボックス SOP インスタンスを生成しなかった。
N-CREATE 警告	DRYPRO MODEL 771(SCP)は指定された方法で、基本フィルムボックス SOP インスタンスを生成できなかった。

DRYPRO MODEL 771(SCP)は Host(SCU)に次の状態コードのいずれかを返す。

《プリント管理サービスクラス共通の状態コード》

0000H(成功状態)	
0106H(警告状態)	値がサポートされていない。
0116H(失敗状態)	内部のデフォルト値を使用した。
0120H(失敗状態)	値が供給されない。
B605H(失敗状態)	指定外の濃度が指定された。

※また内部エラーやエラーが特定できない場合は、A-ABORTを使用して切断する。

《特有の状態コード》

特有の状態コードは無い。

A.1.2 N-SET

DRYPRO MODEL 771(SCP)は Host(SCU)に次の状態コードのいずれかを返す。

《プリント管理サービスクラス共通の状態コード》

0000H(成功状態)	
0106H(警告状態)	値がサポートされていない。
0116H(失敗状態)	内部のデフォルト値を使用した。
0120H(失敗状態)	値が供給されない。
B605H(失敗状態)	指定外の濃度が指定された。

※また内部エラーやエラーが特定できない場合は、A-ABORTを使用して切断する。

《特有の状態コード》

特有の状態コードは無い。

DRYPRO MODEL 771

A.1.3 N-ACTION

SCUは、SCPにフィルムセッションに属するフィルムボックスの1枚以上のコピーをプリントすることを要求するために、N-ACTIONを使用することができる。

《基礎フィルムセッション SOP クラス》

N-ACTION 成功	DRYPRO MODEL 771(SCP)はフィルムセッションに属するフィルムがプリントのために受け取られた。
N-ACTION 失敗	DRYPRO MODEL 771(SCP)はフィルムセッションをプリントしていない。
N-ACTION 警告	DRYPRO MODEL 771(SCP)は指定された方法で、フィルムセッションをプリントできない。

DRYPRO MODEL 771(SCP)は Host(SCU)に次の状態コードのいずれかを返す。

《プリント管理サービスクラス共通の状態コード》

プリント管理サービスクラス共通の状態コードは無い。

《特有の状態コード》

0000H(成功状態)	フィルムセッションに属するフィルムは、プリントのために受け取れた。
0105H(失敗状態)	無効な動作タイプ
0112H(失敗状態)	指定された Film Session 領域が存在しない。
B605H(失敗状態)	プリントキューが一杯である。
C605H(失敗状態)	プリントキューが一杯でインスタンス UID が作成できない
C613H(失敗状態)	結合画像サイズが Image Box よりも大きい

※また内部エラーやエラーが特定できない場合は、A-ABORTを使用して切断する。

A.1.4 N-DELETE

SCUは、SCPに基礎フィルムセッション SOP インスタンス階層構造の全部を削除することを要求するために、N-DELETEを使用することができる。

《基礎フィルムセッション SOP クラス》

N-DELETE 成功	DRYPRO MODEL 771(SCP)は SOP インスタンスの指定された階層構造を削除した。
N-DELETE 失敗	DRYPRO MODEL 771(SCP)は SOP インスタンスの指定された階層構造を削除しなかった。

DRYPRO MODEL 771(SCP)は Host(SCU)に次の状態コードのいずれかを返す。

《プリント管理サービスクラス共通の状態コード》

プリント管理サービスクラス共通の状態コードは無い。

《特有の状態コード》

特有の状態コードは無い。

DRYPRO MODEL 771

A.2 基礎フィルムボックス SOP クラス

A.2.1 N-CREATE

SCU は、SCP に基本フィルムボックス SOP インスタンスの生成を要求するために、N-CREATE を使用することができる。

《基礎フィルムボックス SOP クラス》

N-CREATE 成功	DRYPRO MODEL 771(SCP)は基本フィルムボックス SOP インスタンスを生成し、その属性を初期化する。
N-CREATE 失敗	DRYPRO MODEL 771(SCP)がまだ基本フィルムボックス SOP インスタンスを生成しなかった。
N-CREATE 警告	DRYPRO MODEL 771(SCP)は指定された方法で、基本フィルムボックス SOP インスタンスを、初期値を使用し生成した。

DRYPRO MODEL 771(SCP)は Host(SCU)に次の状態コードのいずれかを返す。

《プリント管理サービスクラス共通の状態コード》

0000H(成功状態)	
0106H(警告状態)	値がサポートされていない。
B605H(警告状態)	範囲外の最低濃度・最高濃度を受信した。
0116H(失敗状態)	内部のデフォルト値を使用した。
0120H(失敗状態)	値が供給されない。

※また内部エラーやエラーが特定できない場合は、A-ABORTを使用して切断する。

《特有の状態コード》

特有の状態コードは無い。

A.2.2 N-SET

DRYPRO MODEL 771(SCP)は Host(SCU)に次の状態コードのいずれかを返す。

《プリント管理サービスクラス共通の状態コード》

0000H(成功状態)	
0106H(警告状態)	値がサポートされていない。
B605H(警告状態)	範囲外の最低濃度・最高濃度を受信した。
0116H(失敗状態)	内部のデフォルト値を使用した。
0120H(失敗状態)	値が供給されない。

※また内部エラーやエラーが特定できない場合は、A-ABORTを使用して切断する。

《特有の状態コード》

特有の状態コードは無い。

A.2.3 N-ACTION

SCUは、SCPにフィルムセッションの一つのフィルムの1枚以上のコピーをプリントすることを要求するために、N-ACTIONを使用することができる。

《基礎フィルムボックス SOP クラス》

N-ACTION 成功	DRYPRO MODEL 771(SCP)はフィルムセッションに属するフィルムがプリントのために受け取られた。
N-ACTION 警告	DRYPRO MODEL 771(SCP)は指定された方法で、フィルムセッションをプリントできない。
N-ACTION 失敗	DRYPRO MODEL 771(SCP)はフィルムセッションをプリントしていない。

DRYPRO MODEL 771(SCP)は Host(SCU)に次の状態コードのいずれかを返す。

《プリント管理サービスクラス共通の状態コード》

プリント管理サービスクラス共通の状態コードは無い。

《特有の状態コード》

0000H(成功状態)	フィルムセッションに属するフィルムは、プリントのために受け取られた。
0106H(失敗状態)	値がサポートされていない。
0116H(失敗状態)	内部のデフォルト値を使用した。
0120H(失敗状態)	値が供給されない。
C605H(失敗状態)	プリントキューが一杯でインスタンス UID が作成できない
C613H(失敗状態)	結合画像サイズが Image Box よりも大きい

※また内部エラーやエラーが特定できない場合は、A-ABORTを使用して切断する。

A.2.4 N-DELETE

SCUは、SCPに基礎フィルムボックス SOP インスタンス階層構造を削除することを要求するために、N-DELETEを使用することができる。

《基礎フィルムボックス SOP クラス》

N-DELETE 成功	DRYPRO MODEL 771(SCP)は SOP インスタンスの指定された階層構造を削除した。
N-DELETE 失敗	DRYPRO MODEL 771(SCP)は SOP インスタンスの指定された階層構造を削除しなかった。

DRYPRO MODEL 771(SCP)は Host(SCU)に次の状態コードのいずれかを返す。

《プリント管理サービスクラス共通の状態コード》

プリント管理サービスクラス共通の状態コードは無い。

《特有の状態コード》

特有の状態コードは無い。

A.3 基礎グレイスケール画像ボックス SOP クラス

A.3.1 N-SET

SCUは、SCPに基本グレイスケール画像ボックス SOP インスタンスの更新を要求するために、N-SETを使用することができる。

SCUは、最後に生成されたフィルムボックス SOP インスタンスに属する基礎グレイスケール画像ボックス SOP インスタンス UIDのみを指定し、属性値が設定される属性リストを指定する。

《基礎グレイスケール画像ボックス SOP クラス》

N-SET 成功	DRYPRO MODEL 771(SCP)は SOP インスタンスの指定された属性を更新した。
N-SET 失敗	DRYPRO MODEL 771(SCP)は SOP インスタンスの指定された属性を更新しなかった。
N-SET 警告	DRYPRO MODEL 771(SCP)は指定された方法で操作を実行できなかった。

DRYPRO MODEL 771(SCP)は Host(SCU)に次の状態コードのいずれかを返す。

《プリント管理サービスクラス共通の状態コード》

0000H(成功状態)	
0106H(警告状態)	値がサポートされていない。
0116H(失敗状態)	内部のデフォルト値を使用した。
0120H(失敗状態)	値が供給されない。

※また内部エラーやエラーが特定できない場合は、A-ABORTを使用して切断する。

《特有の状態コード》

特定の状態コードはない

DRYPRO MODEL 771

A.4 プリンタ SOP クラス

A.4.1 N-GET

SCUは、SCPにプリントSOPインスタンスを要求するために、N-GETを使用することができる。
《プリンタSOPクラス》

N-GET 成功	DRYPRO MODEL 771(SCP)は SOP インスタンスを検索した。
N-GET 失敗	DRYPRO MODEL 771(SCP)は SOP インスタンス検索しなかった。

DRYPRO MODEL 771(SCP)は Host(SCU)に次の状態コードのいずれかを返す。

《プリント管理サービスクラス共通の状態コード》

0000H(成功状態)	U/M : プリンタ状態、プリンタ状態情報 U/U : 製造業者、製造モデル名、設置シリアル番号、ソフトウェア版、 イメージャー名
-------------	---

《特有の状態コード》

特定の状態コードはない

DRYPRO MODEL 771

Appendix.B (イメージフォーマット)

B.1 イメージフォーマット

STANDARD フォーマット PORTRAIT/LANDSCAPE 共通(1/2)

フォーマット	11X14	14X14	14X17
STANDARD¥1,1	○	○	○
STANDARD¥1,2	○	○	○
STANDARD¥2,1	○	○	○
STANDARD¥1,3	○	○	○
STANDARD¥3,1	○	○	○
STANDARD¥2,2	○	○	○
STANDARD¥2,3	○	○	○
STANDARD¥3,2	○	○	○
STANDARD¥2,4	○	○	○
STANDARD¥4,2	○	○	○
STANDARD¥3,3	○	○	○
STANDARD¥3,4	○	○	○
STANDARD¥4,3	○	○	○
STANDARD¥3,5	○	○	○
STANDARD¥5,3	○	○	○
STANDARD¥4,4	○	○	○
STANDARD¥3,6	○	○	○
STANDARD¥6,3	○	○	○
STANDARD¥4,5	○	○	○
STANDARD¥5,4	○	○	○
STANDARD¥4,6	○	○	○
STANDARD¥6,4	○	○	○
STANDARD¥5,5	○	○	○
STANDARD¥4,7	○	○	○
STANDARD¥7,4	○	○	○
STANDARD¥5,6	○	○	○
STANDARD¥6,5	○	○	○
STANDARD¥4,8	○	○	○
STANDARD¥8,4	○	○	○
STANDARD¥5,7	○	○	○
STANDARD¥7,5	○	○	○
STANDARD¥6,6	○	○	○
STANDARD¥5,8	○	○	○
STANDARD¥8,5	○	○	○
STANDARD¥6,7	○	○	○
STANDARD¥7,6	○	○	○
STANDARD¥6,8	○	○	○
STANDARD¥8,6	○	○	○
STANDARD¥7,7	○	○	○
STANDARD¥6,9	○	○	○
STANDARD¥9,6	○	○	○
STANDARD¥7,8	○	○	○
STANDARD¥8,7	○	○	○

DRYPRO MODEL 771

STANDARD フォーマット PORTRAIT/LANDSCAPE 共通(2/2)

フォーマット	11X14	14X14	14X17
STANDARD¥6,10	○	○	○
STANDARD¥10,6	○	○	○
STANDARD¥7,9	○	○	○
STANDARD¥9,7	○	○	○
STANDARD¥8,8	○	○	○

※フィルムサイズ、P/Lに関わらず上記のフォーマットをサポートする。

MIX フォーマット PORTRAIT/LANDSCAPE 共通

フォーマット	11X14	14X14	14X17
ROW¥3,2	○	○	○
ROW¥2,3	○	○	○
ROW¥3,3,2	○	○	○
ROW¥2,3,3	○	○	○
ROW¥4,4,2	○	○	○
ROW¥2,4,4	○	○	○
ROW¥3,3,3,2	○	○	○
ROW¥2,3,3,3	○	○	○
ROW¥3,1,	○	○	○
ROW¥1,3	○	○	○
ROW¥2,2,1	○	○	○
ROW¥1,2,2	○	○	○
ROW¥3,3,1	○	○	○
ROW¥1,3,3	○	○	○
ROW¥3,3,3,1	○	○	○
ROW¥1,3,3,3	○	○	○

※フィルムサイズ、P/Lに関わらず上記のフォーマットをサポートする。

B.2 その他プリント制限

- ・ プリント有効画素数 (PP)
スタンプ文字方向：フィルム方向と同様

フィルムサイズ	フィルム方向	横	縦
14 X 17	Portrait	4344 (4496)	5196 (5412)
	Landscape	5312 (5412)	4230 (4496)
14 X 14	Portrait	4344 (4496)	4230 (4446)
	Landscape		
11 X 14	Portrait	3390 (3492)	4230 (4496)
	Landscape	4344 (4496)	3276 (3492)

スタンプ文字方向：フィルム方向と逆

フィルムサイズ	フィルム方向	横	縦
14 X 17	Portrait	4306 (4496)	5248 (5412)
	Landscape	5260 (5412)	4268 (4496)
14 X 14	Portrait	4306 (4496)	4281 (4446)
	Landscape		
11 X 14	Portrait	3340 (3492)	4268 (4496)
	Landscape	4306 (4496)	3327 (3492)

- ※ () 内は CR モードの場合
- ※ 最大入力画素数 26M ピクセル

1 コマフォーマット 78.6 μ m ピッチでライフサイズを実現するための指定入力画素数は、上図の値を使用してください。

- ・ 各フォーマットに対する 1 コマの最大入力画素数（縮小されない場合）は、各フィルムサイズ、フィルム方向に対し、次の計算で求められる。

横の最大入力画素数: $(PP - 16 * (Nh - 1)) / Nh$

縦の最大入力画素数: $(PP - 16 * (Nv - 1)) / Nv$

(PP = プリント有効画素数、Nh = 横方向のコマ数、Nv = 縦方向のコマ数)

例:14X17、3X4(12 コマフォーマット)、PORTRAIT の場合の 1 コマ最大入力画素数は、

横の最大入力画素数: $(4344 - 16 * (3-1)) / 3 = 1437$

縦の最大入力画素数: $(5196 - 16 * (4-1)) / 4 = 1287$

となります。

- ・ 各フォーマットに対する 1 コマの最大入力画素数（縮小される場合）は、各フィルムサイズ、フィルム方向に対し、次の計算で求められる。

横の最大入力画素数: $(PP - 16 * (Nh - 1)) / Nh / 0.8$

縦の最大入力画素数: $(PP - 16 * (Nv - 1)) / Nv / 0.8$

(PP = プリント有効画素数、Nh = 横方向のコマ数、Nv = 縦方向のコマ数)

例:14X17、3X4(12 コマフォーマット)、PORTRAIT の場合の 1 コマ最大入力画素数は、

横の最大入力画素数: $(4344 - 16 * (3-1)) / 3 / 0.8 = 1796$

縦の最大入力画素数: $(5196 - 16 * (4-1)) / 4 / 0.8 = 1608$

となります。

Appendix.C (Status Information)

C.1 イメージャー状態情報

NO	値	意味
1	COVER OPEN	プリンタ又は自現機のカバー、引き出し又は扉が開いている。
2	ELEC DOWN	電氣的ハードウェアトラブル発生のためプリンタは動作してない。
3	ELEC SW ERROR	ソフトウェアエラー発生のためプリンタは動作してない。
4	EMPTY 11×14	11×14 フィルム EMPTY。
5	EMPTY 11×14 CLR	11×14 クリアーフィルム EMPTY。
6	EMPTY 11×14 BLUE	11×14 ブルーフィルム EMPTY。
7	EMPTY 11×14DR C	11×14 DR クリアーフィルム EMPTY。
8	EMPTY 11×14DR B	11×14 DR ブルーフィルム EMPTY。
9	EMPTY 14×14	14×14 フィルム EMPTY。
10	EMPTY 14×14 CLR	14×14 クリアーフィルム EMPTY。
11	EMPTY 14×14 BLUE	14×14 ブルーフィルム EMPTY。
12	EMPTY 14×14DR C	14×14 DR クリアーフィルム EMPTY。
13	EMPTY 14×14DR B	14×14 DR ブルーフィルム EMPTY。
14	EMPTY 14×17	14×17 フィルム EMPTY。
15	EMPTY 14×17 CLR	14×17 クリアーフィルム EMPTY。
16	EMPTY 14×17 BLUE	14×17 ブルーフィルム EMPTY。
17	EMPTY 14×17DR C	14×17 DR クリアーフィルム EMPTY。
18	EMPTY 14×17DR B	14×17 DR ブルーフィルム EMPTY。
19	EXPOSURE FAILURE	露光部に原因不明の問題発生。
20	FILM JAM	プリンタでフィルムジャム発生
21	FILM TRANSP ERR	フィルム搬送系のエラー。
22	CHECK PRINTER	現在プリンタが準備できていない。
23	PRINTER INIT	通常のウォームアップ状態等により、プリンタの準備ができていない。
24	PRINTER DOWN	不確定な理由で、プリンタが動作していない。
25	UNKNOWN	原因不明の問題発生

※網掛け部分は拡張したエラーコードである。

白紙ページです



KONICA MINOLTA

■販売元

コニカミノルタ ヘルスケア株式会社

191-8511 東京都日野市さくら町1番地 TEL (042)589-1439 (代)

■製造販売元

コニカミノルタ エムジー株式会社

191-8511 東京都日野市さくら町1番地

0581YA110 A